決算説明資料（連結）

2026年12月期　第3四半期（累計）

（2026年１月１日～2026年9月30日）



2026年11月13日

株式会社倉元製作所

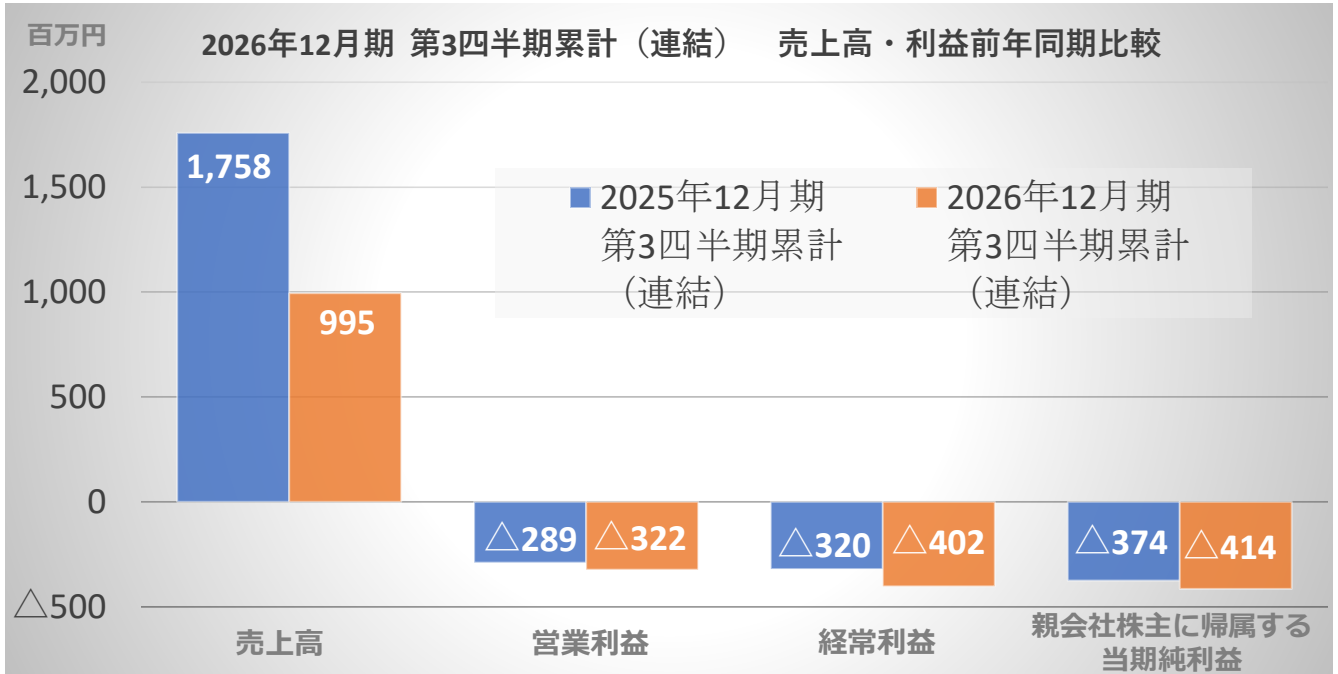
KURAMOTO

2026年12月期 第3四半期（累計）（2026年１月１日～2026年9月30日）連結業績　概況

金額単位：百万円

	2025年12月期 第3四半期累計（連結）	2026年12月期 第3四半期累計（連結）	前年同期比	前年同期比 増減率
売上高	1,758	**995**	△763	△43.4%
営業利益	△289	**△322**	△33	-
経常利益	△320	**△402**	△82	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△374	**△414**	△40	-
EBITDA *1	42	**△153**	△195	-

*1 EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）



IWR：子会社アイウイズロボティクス社

◆ 売上高

当第3四半期の売上高は、前年同期比43.4%減の995百万円となりました。

これは、ＩＷＲ社が大手コンビニ向けに2023 年 12 月から 2026 年７月までに販売した約 1100 台の多機能掃除ロボットについて、ロボットの一部部品に品質問題が発生し、現在、性能が向上したモーターへの部品交換を進めております。このため、コンビニ向けの新たな受注が中断していること、及び半導体加工事業において受注済み量産案件の一部が顧客側の都合によりキャンセルとなったこと等が主な要因です。

◆ 損益の状況

営業損失は、ロボット事業及び半導体加工事業の減収の影響により、322百万円となりました。

経常損失は、遊休固定資産費用23百万円、支払利息35百万円等を営業外費用として計上したことにより、402百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、法人税等15百万円を計上したこと等により、414百万円となりました。

2026年12月期
第3四半期（累計）（2026年１月１日～2026年9月30日）
セグメント別連結業績概況（連結）

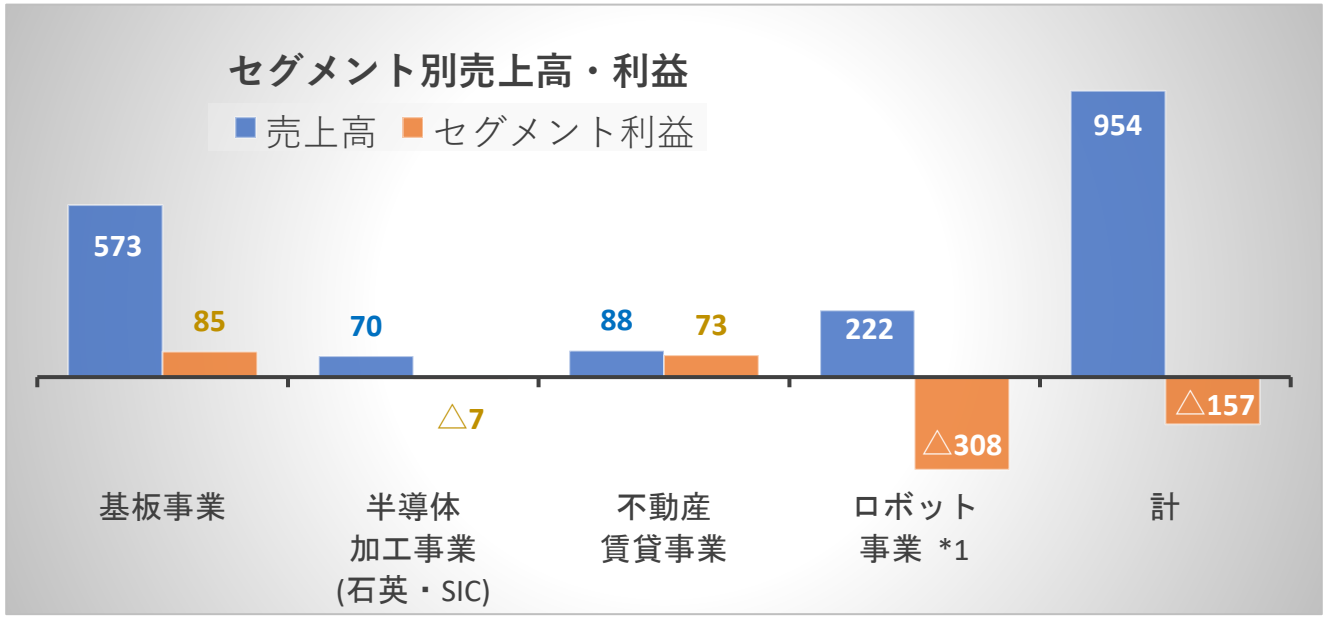
◆ 基板事業及び不動産事業は、増収増益
◆半導体加工事業は減収・損失縮小、ロボット事業は減収・損失拡大

セグメント別　売上高・利益

金額単位：百万円

	報告セグメント					その他 *2	共通費 *3 調整額	四半期連結財務諸表計上額
	基板事業	半導体加工事業 (石英・SiC)	不動産賃貸事業	ロボット事業	計			
売上高 *1	573	70	88	222	954	51	-10	995
（前年同期比）	(22.0%)	(△62.6%)	(32.5%)	(△77.6%)	(△44.5%)			
セグメント利益 *4	85	△7	73	△308	△157	2	△168	△322
（売上高利益率）	(14.8%)	(△10.0%)	(83.0%)	(△138.7%)	(△16.5%)			

*1 売上高はセグメント間の内部売上高を含む金額であり、連結売上高との差額は調整額として消去しております。
*2 その他は、Lark事業及び派遣事業であります。
*3 共通費は、各セグメントに帰属しない全社費用です。
*4 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



<セグメント別　売上高・利益>

◆ 基板事業（研磨研削）の売上高は、前年同期の470百万円から、既存顧客からの受注が増加し、当第3四半期累計は573百万円と増収、セグメント利益も前年同期49百万円から当第3四半期累計は85百万円と増益となりました。

◆半導体加工事業の売上高は、前年同期の188百万円から当第3四半期累計は70百万円と減収。セグメント損失は前年同期△14百万円から当第3四半期累計は△7百万円となりました。前年同期減収の理由は、石英加工事業の受注の一部がキャンセルになったことによります。

◆ 不動産賃貸事業の売上高は、前年同期66百万円から当第3四半期累計は88百万円と増収。セグメント利益も前年同期50百万円から当第3四半期累計は73百万円と増益となりました。これは、花泉工場のフリーレント期間終了による賃貸収入増によるものです。

◆ ロボット事業は、前年同期売上高994百万円から当第3四半期累計は222百万円と大幅減収（減収要因は、前頁参照）。セグメント損失は、前年同期の189百万円から当第3四半期累計は308百万円となり損失幅は拡大しました。

◆ 調整額（全社費用等）168百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等です。

財務状況の実績推移 2024年～2026年第3四半期末（連結）

【貸借対照表（要約）】　　単位：百万円

	2024年12月期末連結	2025年12月期末（連結）	2026年12月期第3四半期末（連結）
資産の部			
流動資産	**1,358**	**544**	**1,014**
現金預金	639	97	223
受取手形及び売掛金	466	151	136
商品、製品及び原材料	158	202	259
短期貸付金		30	
その他	92	64	395
固定資産	**3,297**	**1,275**	**1,211**
有形固定資産	1,343	1,165	1,123
無形固定資産	1,939	88	74
投資その他の資産	14	21	13
資産合計	**4,655**	**1,820**	**2,225**
負債・純資産の部			
流動負債	**683**	**728**	**605**
支払手形及び買掛金	73	52	69
短期借入金	359	426	333
その他	251	249	203
固定負債	**229**	**354**	**289**
長期借入金	164	233	182
その他	64	121	107
負債合計	**912**	**1,083**	**894**
純資産	**3,742**	**736**	**1,331**
負債・純資産合計	**4,655**	**1,820**	**2,225**

IWR：子会社アイウイズロボティクス社

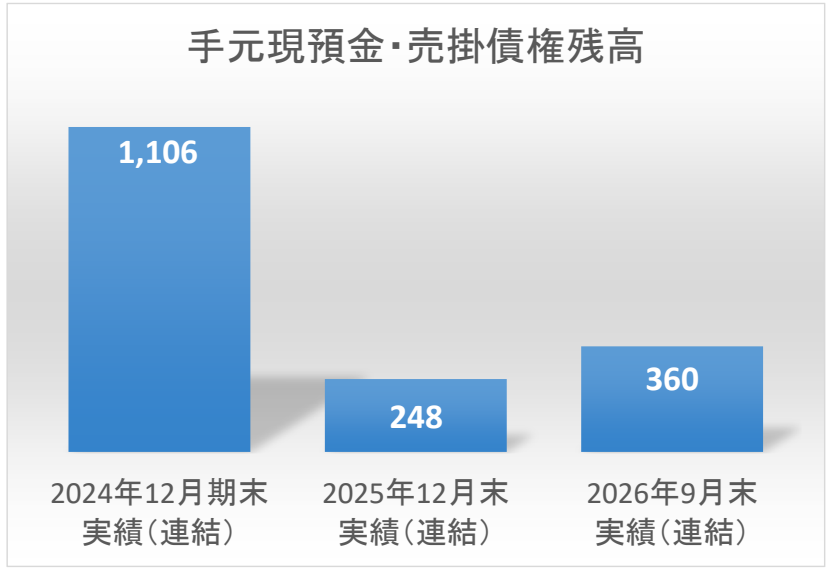
＜貸借対照表（連結）　2026年第3四半期末＞

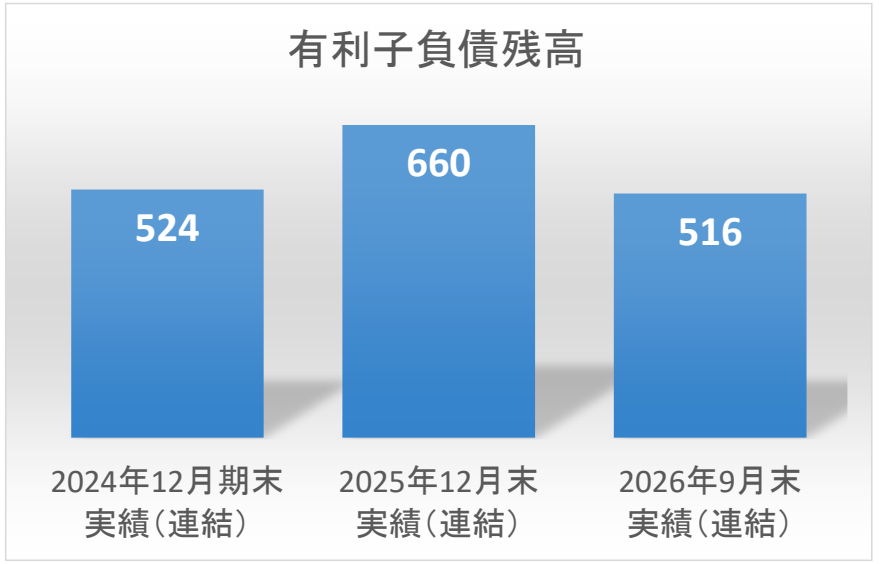
◆ 総資産2,225百万円。主な内訳は、流動資産は、現金及び預金223百万円、受取手形及び売掛金 136百万円、棚卸資産259百万円。有形固定資産は、土地534百万円、建物及び構築物212百万円等 。無形固定資産は、ソフトウェア等を中心に74百万円となりました。

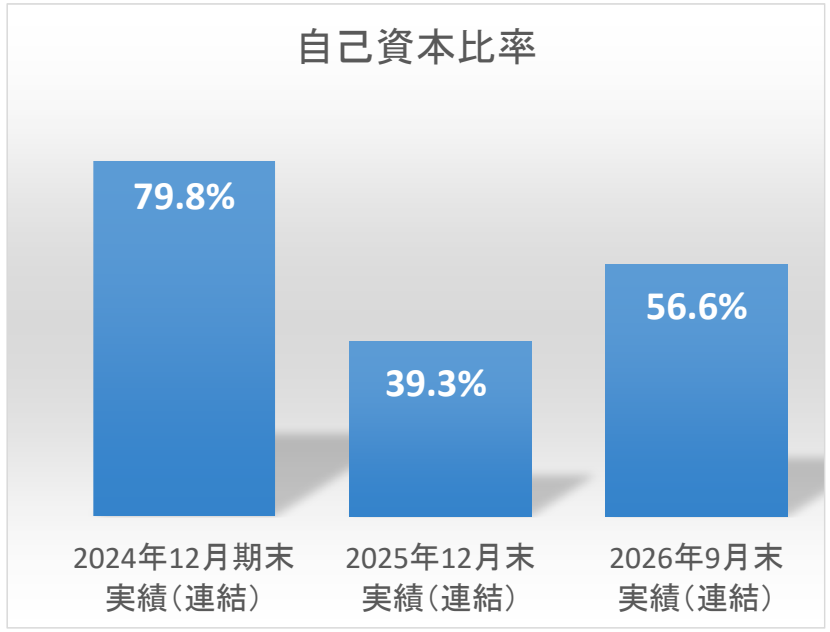
◆ 負債合計は、894百万円。主な内訳は、支払手形及び買掛金69百万円 、短期借入金333百万円（1年以内返済予定の長期借入金を含む） 、長期借入金182百万円。長期及び短期借入金はすべて、IWRが運転資金として借り入れたものです。

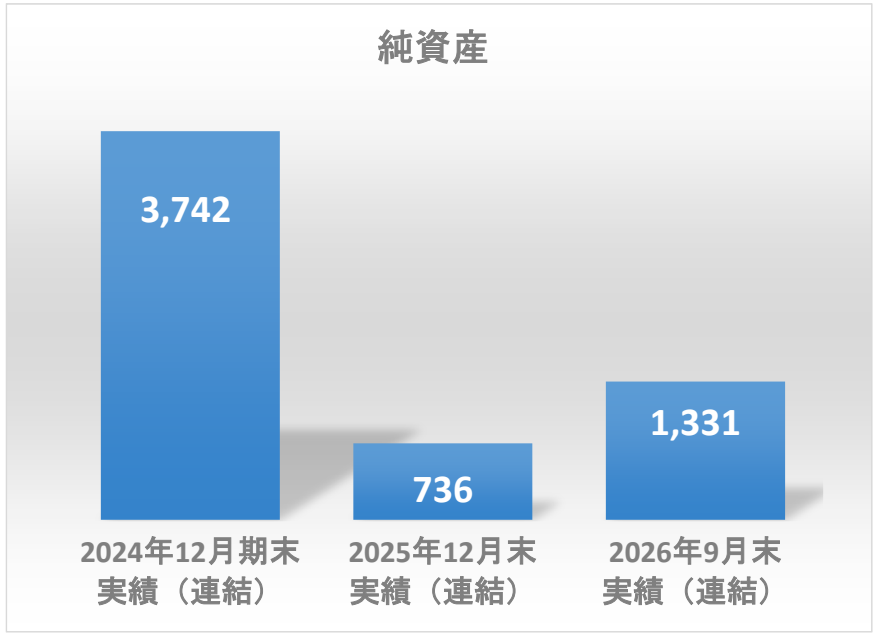
◆ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失414百万円を計上した一方、第5回及び第9回新株予約権の一部行使並びに2026年４月及び7月の第三者割当増資等により、前期末比595百万円増加し、1,331百万円となりました。

財務状況の実績推移 2024年～2026年第3四半期









CREATING THE FUTURE

ビジネスを通じて

半歩先行く技術と商品力で未来を創る

ビジョン 目指すところ

世界の最先端技術を取り入れ
日本のモノづくりの原点に回帰し、ヒト・モノ・カネの
良い循環を生み出し、未来に向けて進化する

組織の理念

全社員が**情熱**を持って

全社一丸となれる組織の**仕組**を持つ

モノづくりの**プロ集団**